

私の想い

「信頼出来る地域を
自分達の手で」



大崎町民生委員・
児童委員協議会会長
神田 博臣 氏

民生委員・児童委員協議会の一員として、平成22年に活動を始めて3期目になりますが、私達民生委員を取りまく環境は少しずつ変化していると思っています。まず65歳以上の二人に一人は「ガン」になると言われ非常に「ガン」患者が増えています。それと認知症患者の増加です。私達民生委員・児童委員は、患者を指導する資格は持っていませんが、地域の方々から相談を受けたりしますと何ら

かの活動を行ないます。その為に、普段から月一回の定例会時に関係ある事項を学習したり、委員相互の連絡調整を行なっています。

私が今まで経験したり、体験したりした事で、認知症になりやすい方々がいると言う事があります。一人で長い間生活しており、まわりの皆様と歌ったり笑ったりせず、仕事一筋の方、夫婦2人の生活で会話が無い方等、孤独な生活が多い方は、生活態度を変え大声で笑ったり、近所の方々と活動したり、歌ったりする生活を取り入れると認知症になりにくいようです。一ヶ月か二ヶ月の事でなく10年位の普段の生活が関係するようですので、信頼出来る地域の方々仲間になり、普段から心に余裕を持ち楽しく暮らすよう心がけましょう。

そして、身内や親族に認知症の

患者が出た時は、回りの皆様に隠すのでなく、声かけや、普段の生活上の協力をお願いし、徘徊や行方不明の事故を無くするように務めましょう。

私達民生委員・児童委員は町内に45名で活動しています。自分から働き掛ける時もありますが、相談を受けて動く時もあります。安心して暮らせる町は地域住民みんなの手で作らしましょう。



様々な相談に対応するための研修会を実施

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。皆様いかがお過ごしでしょうか。

夏本番を迎え今年も気温上昇で熱中症が心配されます。水分、栄養など充分に取っていただきご自愛ください。

さて、広報広聴常任委員会も新しい体制となりました。これまで以上に分かりやすく、読みやすい編集に努力してまいりますので、引き続き、ご愛読のほどよろしくお願い致します。
(稲留光晴)



議会広報広聴常任委員会

- 委員長 児玉孝徳 副委員長 稲留光晴
- 委員 小野光夫 委員 吉原信雄
- 委員 中倉広文 委員 諸木悦朗

発行責任者 大崎町議会議長 宮本 昭一